



身の回りに増えてきたパソコンやスマホなどのコンピューター機器。案外忘れがちで、放おつておきがちな…、でも絶対に覚えておきたいのはセキュリティー対策です。

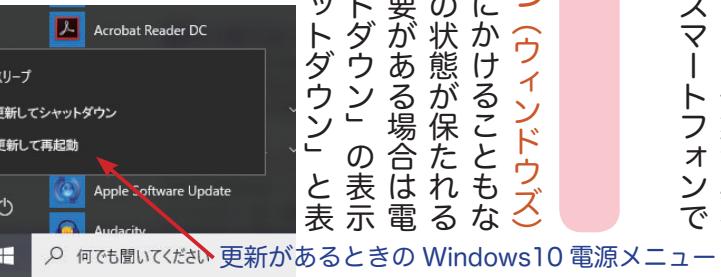
セキュリティー対策とは？

パソコンやスマートフォンは、インターネットに接続して使用することがほとんどです。インターネットに接続しているということは、その回線を通じて様々な情報を参照できると同時に、外からも自分の機器に繋がっていることになります。それは、覗き見をされたり、いらぬ物が侵入し「いたずら」される可能性があるということです。完全に防ぐことは不可能なのですが、対策は怠らないようにしましょう。

では、「対策を行う」とは、どのような作業が必要になるのでしょうか。パソコンとスマートフォンでは、扱いが異なります。

パソコン

① **OSを最新の状態に保つ（Windows）**
Windows10では、特に気にかけることもなく、更新処理が行われ常に最新の状態が保たれるようになっています。更新の必要がある場合は電源メニューに、普段は「シャットダウン」の表示のあるところに「更新してシャットダウン」と表示が変わります。シャットダウンを行うと、自動で更新処理を行ってくれます。



この処理はWindowsの弱いところを、修正してくれる処理です。悪い人はこの弱いところを狙って攻撃してきます。

② ウィルス対策

万が一ウィルスが侵入したときに、発見・駆除してくれるソフトがアンチウィルスソフトです。新しいパソコンを購入すると、3カ月試用できるソフトがついていることがあります。(ウィルスバスター・マカフィーなど) 3カ月試用して気に入ったら契約して使用するタイプです。(年額3~4千円くらいです) 購入後3カ月で試用期間が終わるので注意しましょう。引き続き使っている場合は、対策更新が必要です。

なお、Windows10にはありかじめウイルス対策ソフトが標準で付いています。特別な契約も必要なく無料で使えます。また、インターネットの回線契約をNTTやe-Oネットなどで行われている場合は、対策ソフトが付属しています。

※OSとは、パソコンやスマートフォンを動かしている基幹のソフトウェアのことです。

パソコンでは「Windows」「macOS」、スマートフォンでは「Android」「iOS」などがその名称です。

スマートフォン

① **OSを最新の状態に保つ**
スマートフォンでは、更新の通知が届きます。Androidでは、画面上のステータスバーに「ソフトウェアの更新」、iPhoneでは、設定アイコンに「バッジ」がそれぞれ表示されます。自動更新ではないので、設定アプリから指示に従って処理します。

② ウィルス対策

iPhoneでも必要であれば、対策アプリを購入し設定するといいでしよう。Androidとの違いは、ウィルスに感染しにくいOSだということ、iPhone用のアプリは、Apple社によって厳格に審査されており、ストアにあるアプリは、ほぼ安全なアプリといえます。それに対しAndroid用のアプリは、無審査です。ですので必ずチェックが必要です。（誰でも自由にアプリを作成し販売できるようになっています）



iPhone の更新通知（赤い丸いバッジが表示される）

各パソコンのソフトやスマホのアプリ更新も怠らないようにしましょう。パソコンのソフトは使用時に更新があれば通知されますが、スマホのアプリもOSの更新時と同様に通知されます。自動更新とそうでないものもありますので、注意して下さい。



iPhone のアプリ更新通知（マルの数字は更新アプリの数）

ソフトやアプリを使うこととは直接関係ない操作だけに、ついついおさなりになりがちですが、転ばぬ先の杖、しっかり対策しておきたいものです。

教室のWebページは左記アドレスまたは、QRコードからどうぞ。

新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<http://pc-iwakura.com/>

